

## 前期集中・後期の授業について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年7月29日）

先日、京都大学での新型コロナウイルスのクラスター発生を受けて、警戒レベルが引き上げられました。そのことによって、以前は対面で実施するとお知らせされていた前期集中講義や、後期の授業が前期同様オンラインでの実施になるかもしれないことに大きな不安を抱えています。

Zoomを用いての授業やオンデマンド型の授業は、対面授業と比べると学びの質が落ちてしまうように思えますし、課題やPandAに生じる問題などですでに疲弊しきっています。先生方も私たち生徒のことを考えて、なるべくリアルタイムでのZoom授業を行って双方向のコミュニケーションを図って下さったり、オンライン特有の問題に対処してくださったりしているのはよく理解していますし、大変ありがたいのですが、それでもやはり私たち生徒の精神的なストレスは限界近くに達しています。先生方からも、前期の最終授業の際に、オンライン授業に疲れたという声をよくお聞きしました。

このまま後期もオンライン授業となれば、貴重な大学生活のうちの一年をずっと自宅で過ごすことになってしまいます。さらに、実家から通う予定だった生徒は大学の施設すら利用することも難しいし、下宿を考えていて実家に戻った生徒も、住んでもいないのに下宿代だけ払い続けることになってしまい経済的にも非常に苦しんでいるという声も多く上がっています。正直もうこの状況に耐えられる気がしないですし、同じような意見を抱いている生徒はたくさんいます。中高生は学校も始まり部活もしているし、大型遊園地やレジャー施設が開園しているのに、大学だけ未だに対面での授業を許されていないことにも非常に違和感を抱いています。サークル活動や学祭を延期するのは致し方ないことだと思いますが、どうか授業だけは再開してください。繰り返しになりますが同じように精神的不安を抱えている生徒は非常にたくさんいます。学生側からこのような意見が出ていることを大学側にご理解していただきたいです。完全にコロナの流行以前の状態に戻すことは難しくても、対面で授業を受け、学ぶ機会を私たちに与えてください。

【回答】（回答日：2020年7月31日）

（回答者：教育推進・学生支援部）

緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染症の終息は未だ見えず、不安な状況の中、毎日をご過ごしていることかと推察いたします。大学としても、一日も早く皆さんが安心して登校できる日が来ることを願っているところです。

しかしながら、先日、本学学生数名が新型コロナウイルス感染症に罹患していることが判明し、これ以上の感染拡大を防止するために、皆さんには、より一層感染防止のための行動（身体的距離の確保、マスク着用、手洗い）の徹底や「三つの密」を極力避け

ることをはじめとした感染拡大防止対策を講じるようお願いしております。

感染症予防に適合させた生活のあり方は、「新しい日常」と呼ばれたりしていますが、社会的な動物である人間の自然なあり方に大きな修正を求めるものであり、直接、間接に多くの人にストレスをもたらしていると思います。そこで本学カウンセリングルームでは学生生活上の様々な悩みの相談を受けていますので、困った時には遠慮せずに率直に支援を求めてください。

なお、経済的支援については、国の施策とは別に大学独自の支援策として既に「緊急学生支援プラン」として国の施策とは別に大学独自の支援策を講じているところですが、本学は高等教育機関として、意欲と能力のある学生が経済的理由で修学・進学を断念することなく、希望する教育を受けられるようにするために引き続き努力していく所存です。

また、授業については、今のところ検討中ではありますが、現時点の感染状況を鑑みると前期同様オンライン授業を中心に実施していくことが予想されます。オンライン授業については、他の学生からも同様の意見をいただいております。各学部で学生同士または学生と教員がコミュニケーションをとれる場を設けることを検討しております。

最後に、率直なご意見をいただきありがとうございました。多くの皆さんが、この非常時に大きな不安やストレスを感じておられることと思います。今後も学生支援に関する施策については、皆さんの様々な想いを受け止めつつ、検討を進めてまいります。